

2022年3月15日

建設通信新聞

イン22 ザビ 最優秀は渡邊さん 8作品が決勝審査

デザインレビュー2022が12、13の両日、福岡市の九州産業大学で開かれた。ことしのテーマは「創成期」。予選を勝ち抜いた8作品による決勝審査では、渡邊雪乃さん（九州大）の「隠れ里のイマをつなぐー限界集落と支えあう児童養護施設」が最優秀賞に輝いた。

デザインレビューは、全国各地で建築を学ぶ学生の作品をプロの建築家らが講評することで、参加者と一緒にデザインの可能性やリアリティーについて広く意見交換する活動として企画され、27回目を迎えた。主催は同学生実行委員会。日本建築家協会（JIA九州支部が共催し、総合



最優秀賞の渡邊さん（左）と大西氏

資格学院が特別協賛した。予選審査で本選進出した66作品の中からポスターセッションで決勝進出8作品を選

び、決勝は学生自らのプレゼンテーションとクリティークによる質疑応答形式で進められた。プレゼンテーション終了後に審査員の投票、議論で入賞者を選出した。本選のクリティークは石川初、大西麻貴、佐藤淳、津川恵理、中山英之の各氏が務め、司会を末光弘和氏が担当した。

渡邊さんの作品は、故郷の限界集落である長崎県小浜町富津を舞台に児童養護施設を提案。空き家1軒を定員6人のユニットとし、共用空間となる居間を新築して子どもの交流の輪を狭めない施設とした。優秀賞には小原可南子さん（九州大）の「Echoing Nature」、新美志織さん（工学院大）の「都市を停めるー工事仮設物を用いて更新し続ける駐車場ー」、飯田夢さん（法政大）の「私小説」家」オノマトペを設計手法とした空間化の提案」が選ばれた。

講評で、石川氏は「皆さんの作品から発見することがあった。機会があれば一緒に仕事をしよう」、津川氏は「皆さんは私たちと違う価値観を持っている。このまま進んでほしい」と語った。

クリティーク賞、JIA賞（全国卒業設計コンクール九州地区予選通過者）の受賞者は次のとおり（敬称略）。

〈クリティーク賞〉
 △石川賞 田中由愛（鹿児島大）
 △大西賞 後藤夕輝（広島工業大）
 △佐藤賞 林深音（日本大）
 △津川賞 葛谷聖鷹（滋賀県立大）
 △中山賞 饗庭優樹（立命館大）

〈JIA賞〉
 △小原可南子（同）
 △東英和（九州工業大）
 △高田圭悟（福岡大）
 △渡邊雪乃（同）
 △柴田智帆（九州産業大）
 △三好正順（九州大）